

TEKU TEKU おおたがわ てくてく太田川

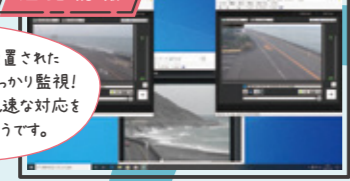
第21号
2022
令和4年3月1日
発行部数 131,000部

特集 命を守る



道路情報

海沿いの道路に設置されたカメラで波の状況をしっかり監視！通行止めにするなど迅速な対応を可能にしているそうです。



WEBカメラシステム

WEBカメラはズームアップができて隅々まで確認ができるのでビックリ！



CCTV映像情報

県専用の光ケーブルを設置して監視しているCCTVというカメラもあり河川の状況を確認しているそうです。太田川流域では洪水予報河川※である太田川(二瀬橋・玉川樋門)と原野谷川(広愛大橋)に設置されています。



※洪水予報河川：流域面積が大きい河川で、洪水により重大な被害を生ずるおそれのある河川として国又は県が指定した河川。洪水のおそれのあるときは、国又は県と気象台は共同して水位又は流量を示した洪水予報を発表します。

河川監視カメラ情報



太田川水系の河川を一覧で監視！

久嶋茂さん 読者の中から参加して頂きました

サイボス (SIPOS) とは？

「Shizuoka comprehensive Information system of Public works for Optimum Safety and scheduling」の頭文字「SIPOS」から命名された、静岡県が運営する地域密着型防災情報システムのことです。

河川監視カメラや水位計・量水標

河川監視カメラ



※警戒水位…水位が警戒水位に達した時は、水防団や消防機関を出动させる。
※通報水位…水防管理者が洪水の恐れがあると判断した場合、その推移を関係者に通報する。

水位計



河川監視カメラや水位計はどのように設置されているの？



編集局員 鈴木敦子

※中面記事の地図にカメラの位置を表示しています。現地で見つけてみてください！



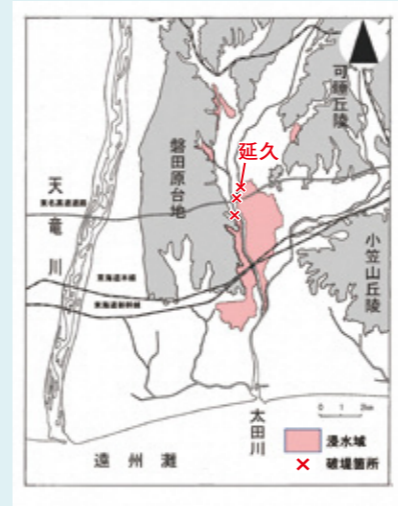
袋井土木事務所のサイボス室を見学しました

鈴木敦子

ここ数年、日本では、地球温暖化の影響などにより、平均気温の上昇や真夏日の増加などの気候の変化、局所的で記録的な豪雨(ゲリラ豪雨)による浸水被害や大規模な土砂災害が頻発している状況が見られます。生活を脅かすこれらの状況に対して、行政はどのような対策を行っているのか。そして私たちはどのように自分を、家族を、友人を守ればいいのか。いま最も気になるこれらの事柄について、静岡県の取り組みの一部を取材しました。



大人の社会科見学



▲資料② 浸水域と破堤箇所

この七夕豪雨をきっかけに、河川改修工事が行なわれたり、太田川ダムが建設されたりしたことから、その後、破堤するような大洪水は発生していません。しかし、近年異常気象による自然災害が多発していることから、平常時から気象予報のチェックや避難方法などを決めておくことが大切です。

今から47年前の1974年(昭和49年)7月7日に、台風の接近と梅雨前線の活動に伴って集中豪雨が降り、静岡県では各地で洪水が多発しました。この豪雨は七夕の日に発生したことから、後に「七夕豪雨」と呼ばれるようになりました。太田川上流の山間部では、400ミリを超す大雨が降り、下流では一気に水位が上昇して、袋井市延久で2ヶ所、磐田市岩井で1ヶ所の堤防が決壊し、袋井市、磐田市を中心に大きな浸水被害が発生しました。この結果、太田川流域では死者1名、重症者13名、家屋の全壊流失87戸、浸水家屋2,237戸、浸水被害1,349ヘクタールにのぼる大災害となりました。また、東海道線や国道1号も不通になり、交通は大混乱になりました。写真は袋井市延久の太田川の堤防が破堤した様子、図は浸水域と破堤箇所を示しています。



▲資料① 太田川堤防の破堤(袋井市延久)



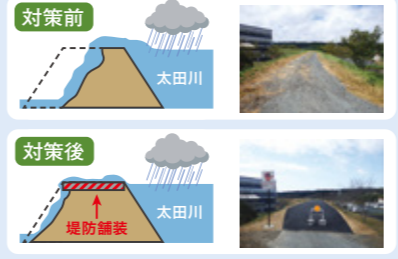
七夕豪雨

静岡高等学校 青島晃



道路じゃない！ 水害から身を守るための舗装

近年、豪雨等による災害が頻発しています。静岡県では、早期に効果が現れる対策として、河道掘削の他に堤防の舗装を行っています。堤防舗装については、堤防の粘り強い構造化を目的として、洪水氾濫した場合に逃げ遅れを防ぐため、越水による決壊までの時間を引き延ばします。サイボスレーダーなどで、各市町から発信される情報を収集して、逃げ遅れのないようお願いします。舗装した堤防には、市道や県道になっていないため、一般車両が通行するように設計されていません。一般車両は通行しないようお願いします。やむを得ず通行する場合は、自己責任で十分注意して通行して頂きますようお願いいたします。



▲堤防強化のための堤防舗装

袋井土木事務所 河川改良課

小長谷章

愛野メモリアルロードは、JR愛野駅とエコー(小笠山総合運動公園)を結ぶ歩道で、サッカーW杯の開催国の出身のアーティストによるモニュメント18基と市民グループなどが花を手入れる半円型花壇が30箇所あり、エコーを訪れた人々をおもてなししています。日本がアイルランドに歴史的勝利を挙げた2019ラグビーW杯の時も、このメモリアルロードや愛野駅周辺でイベント等が開催され、各国の人々をおもてなしました。この先もここからはじまる奇跡のドラマが必ずあるはず。どんなドラマが起こるのかと口ずさんでしまうのは、「愛のメモリー」(笑)



建設業は、他の業種と比較しても、若年層の就業率が非常に少ない状況です。私が子供の頃は、「社会科見学」として近隣の会社へ行って見学に行くだけでしたが、現在は小・中学校で「職場体験」が授業の環で組み込まれており、「働くこと」に近い環境と時間が与えられています。コロナ禍で「リモート」が増え、人と人が触れ合う機会が減ってしまっている中、「リアルな体験」は、業種のPR効果がよりあると思います。感染対策等準備が大変ですが、この取組が業界全体に、会社規模に関係なく積極的に行われるようになっていけば、次世代に魅力を伝えることが出来ると思います。小さな試みですが続けていきます。



建設業は、他の業種と比較しても、若年層の就業率が非常に少ない状況です。私が子供の頃は、「社会科見学」として近隣の会社へ行って見学に行くだけでしたが、現在は小・中学校で「職場体験」が授業の環で組み込まれており、「働くこと」に近い環境と時間が与えられています。コロナ禍で「リモート」が増え、人と人が触れ合う機会が減ってしまっている中、「リアルな体験」は、業種のPR効果がよりあると思います。感染対策等準備が大変ですが、この取組が業界全体に、会社規模に関係なく積極的に行われるようになっていけば、次世代に魅力を伝えることが出来ると思います。小さな試みですが続けていきます。



次世代に 魅力ある業種へ

武藤君幸

図書カードが当たる!! 2022てくてく太田川ものしりクイズ

静岡県独自の防災情報システムの名前は？
① シズオカレーダー ② サイボスレーダー ③ ポウサイレーダー
正解を応募いただいた方の中から図書カード3,000円分を抽選で10名の方にプレゼント！ふるってご応募ください！

【応募方法】 上記QRコードからWEBで回答または電子メール、FAX、官製ハガキのいずれかの方法で、必要記載事項をご記入のうえ応募してください。
応募先は、右記の 静岡県袋井土木事務所 河川改良課 「ものしりクイズ応募係」まで

【記入事項】 ①クイズのこたえ ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤職業 ⑥電話番号 ⑦「てくてく太田川第21号」をご入手しましたか？
・新聞購入・回覧板・公共施設・観光施設・その他(場所を記載) ⑧第21号を読んで新たな発見や感想等

【応募締切】 2022年6月30日 当日消印有効
【当選発表】 当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

※ご記入いただいた個人情報につきましては、管理責任者を定め、紛失や漏洩が発生しないように努めます。また、上記の利用目的のみに使用し、第三者に提供することはありません。



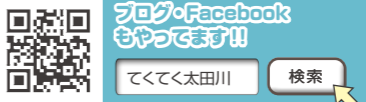
編集局員を募集しています!

編集会議では、新しい出会いや知識共有の場を提供します!! 磐田市、袋井市、掛川市、森町にお住まいの方、編集会議に参加しませんか？



発行日 2022年3月1日
発行者 静岡県袋井土木事務所
〒437-0042 袋井市山名町2番1号
TEL 0538-42-3289 FAX 0538-43-0919
E-mail:fukudo-kasen@pref.shizuoka.lg.jp
URL:http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki/fukuroi/

編集 太田川情報編集局 袋井土木事務所 河川改良課内
編集局員 磐田市 青島 晃 安間美恵子 大石佳典
袋井市 浅羽俊光 小長谷章 鈴木敦子 鈴木泰平 鈴木仁美
望月一弘 門名親宏
掛川市 安藤凱夫 鈴木健太 野中大輔 武藤君幸
森町 岡庭 彩 辻 克美



Facebook もやってみよう!! てくてく太田川 検索





「サイボスレーダー」を活用しよう!

サイボス室で監視している河川の水位情報のほか、雨量やダム情報など、県が収集したデータは、ウェブサイトに公開されています。それが静岡県土木総合防災情報サイト「サイボスレーダー」です。大雨が降ると、近くの川の様子に気になりますよね。そんな時は、パソコンやスマートフォンから川の様子を確認することが出来ます。太田川流域の河川監視カメラは、23箇所に設置されています。カメラの設置場所はマップをご覧ください。川の水位以外にも、地震や台風、気象注意報・警報など静岡県に関わる最新の防災情報が網羅されているので、とても便利です。自分や家族、友人の身を守るためにも、活用していきましょう。

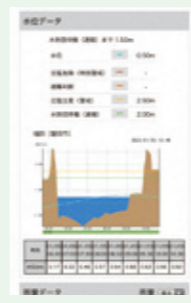
http://sipos.pref.shizuoka.jp/



QRコードからご覧ください

《サイボスレーダー》

水位データ 普段に比べ、どれくらい水位が上がっているかわかります。



雨雲の様子

雨が降り出す、またはやむタイミングを予想できます。



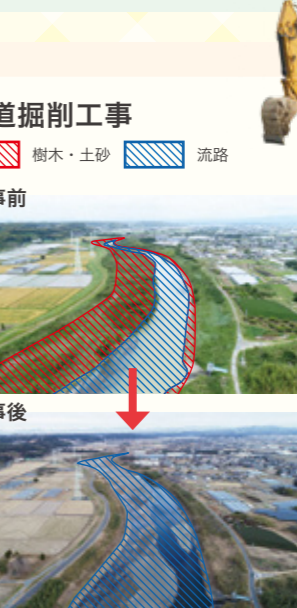
ピンポイント天気

週間天気、1時間毎の予報が分かるので、普段から使えそうです。



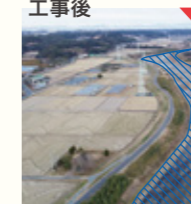
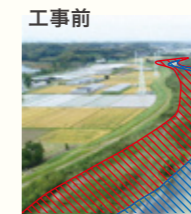
河川監視カメラの様子

10分毎に画像が保存されているので、時間をさかのぼって変化を見ることが出来ます。



河道掘削工事

樹木・土砂 流路



生い茂った樹木の伐採と河道掘削によって流路が広がりました。

土砂はどこに運ばれる?

掘削した土砂(残土)は、13台のダンプカーで次々と掛川の防潮堤へ。残土は工事区間で約37,000m³に及びます。

ハイテクにびっくり!



ICT土工による河道掘削工事 水害から住民を守る

河川敷(河道)には、上流から土砂が流れてきて溜まったり、樹木や竹が生えたりします。それが流路の障害となり、大雨時に洪水を引き起こすひとつの要因となるそうです。磐田市岩井付近の太田川河川敷では、洪水対策のための伐採と土砂の撤去工事が、「ICT土工」という方法で行われています。工事の現場では、ドローン等により得た測量データをもとに設計・施工計画を行う。作成した3次元設計データにより、ICT建設機械を自動制御する。従来の方法より省力化が可能で、熟練した技術がなくても工事を行うことが出来ます。



青島 晃



重機オペレーターの指導のもと 編集局員の試乗体験。



MCバックホウの前で、ICT土工についての説明を聞きました。



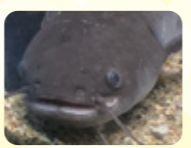
磐田市岩井 玉越橋門上流にて



ナマズの凄いと



辻 克美



太田川の中流から下流域に生息するナマズですが、皆さんは川で泳ぐ姿をあまり見たことはいらないでしょうか。ナマズは夜行性のため、昼間は岩や水草などの陰に潜んでいます。夜になると発達した口ヒゲで餌を探しながら活動し、小魚やカニ・エビなどの甲殻類、昆虫、カエル、亀などの小動物を貪欲に食べています。そんなナマズですが、全身に味覚があることで知られ、味蕾と呼ばれる器官が20万個程あり、なんと全生物の中で最多だそうです。酸いも甘いもしょっぱいもさぞかし忙しいことでしょう。そんなナマズのためにも、川の水はキレイに保ちたいですね。



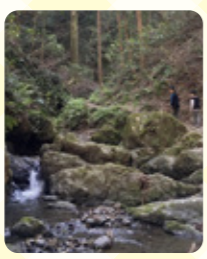
息づくカニ伝説



鈴木健太



▲戸締付近



▲葛布の滝近くの岩壁

信号待ちで天浜線の「戸締駅」を眺めたら、ある伝説が脳裏をかすめました。「蟹ヶ池」と言われるこの付近の話で、人をも引きずり込んでしまう程の大きなカニがいたそうです。信号は青。さて、葛布の滝で子どもとサワガニとりに行くか。滝付近の沢でカニを探していると、岩壁の底でじっと動かない赤いヤツを発見。素早く掴み、引き上げてみる。デカイ!でも...宴会料理とかでよく出るやつか?...子どもは口をポカン。大人の拳より一回り程で赤みを帯びた毛の無いカニ。形もキレイなのだが、だらんとしてピクリともしない様子。あの伝説が電光石火。子どもと目が合う。崩れないように静かに元の場所へ戻し、自然と手を合わせる親子でした。

探してみよう! 太田川水系の魅力。



太田川水系一覧

- 1 太田川
- 2 ぼう備川
- 3 今ノ浦川
- 4 古川
- 5 倉西川
- 6 磐田久保川
- 7 半ノ池川
- 8 安久路川
- 9 旧ぼう備川
- 10 祝川
- 11 磐田田中川
- 12 原野谷川
- 13 蟹田川
- 14 小笠沢川
- 15 法多沢川
- 16 宇刈川
- 17 沖之川
- 18 逆川
- 19 馬込沢川
- 20 垂木川
- 21 家代川
- 22 西山沢川
- 23 東山沢川
- 24 倉真川
- 25 初馬川
- 26 掛川瀬ノ谷川
- 27 掛川戸沢川
- 28 神代地川
- 29 海老名川
- 30 西之谷川
- 31 敷地川
- 32 小敷川
- 33 中沢川
- 34 一宮川
- 35 伏間川
- 36 瀬入川
- 37 三倉川
- 38 葛布川
- 39 大府川



桶ヶ谷沼の異変



安間美恵子

ベッコウトンボで有名な桶ヶ谷沼。広さ7.4ヘクタールの沼に、県内のトンボの約3分の2、国内の約3分の1の種類の生息が確認されています。しかし、長年にわたり観察を続けている桶ヶ谷沼スタッフによると、天敵の増加や、環境の変化などにより異変が起きているようです。このような現状を好転させるため、各種団体が一生懸命対策を講じ、沼の環境を少しでも良くしようとがんばっています。沼を守っている人たちに感謝し、四季折々、変化する風景を楽しみながら、たくさんの鳥や昆虫、植物に会いに来てください。



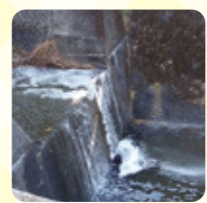
氷瀑か!?川凍る!



鈴木敦子



▲凍った法多沢川



▲半分凍った川

皆様は近くの川が凍っているのをご覧になったことがありますか? 全国ニュースで聞くことはあっても、「遠州ではほとんどお目にかかることのない情景です。真冬のある日「法多沢川が凍っていた!」と知人が珍しい写真を見せてくれました。法多沢川は、静岡理工科大学の南側を流れる4.1kmの二級河川です。連日の冷え込みと遠州の空っ風が作り出した造形でしょうか。小規模ですが、川の落差はまるで滝が凍っているかのように見えました。気象条件と環境がそろえば、袋井でもこのような情景を見ることが出来るのだと大変驚きました。残念ながら、次の日にはいつもの法多沢川に戻っていたようです。私も一月下旬に「凍る川」を実際に見に行ってみました。その日は半分凍った状態でした。



カワセミが 飛ぶ祝川



大石佳典

磐田市のほぼ中央部を流れる祝川は、以前、工場からの排水で汚れていたが、現在は管理され、とても綺麗な流れになった。川に沿って散歩すると、春には鯉や鮒そして幼い頃に観た鯉、夏には亀が甲羅を干す姿、冬には鴨などの野鳥を観ることが出来る。チイチイと甲高い声で鳴くのは、鮮やかな水色の体の小鳥、カワセミだ。日本の野鳥でこんなに鮮やかな色の鳥はいない。彼らは小枝にとまって小魚をじっと待ち、タイミングを見計らって川に飛び込み、長くくばしばいして獲物を捕らえる。その姿を探索は忍耐が必要だし、見つけても彼らはとても警戒心が強いので、そっと見守る事が必要だ。



▲ベッコウトンボ

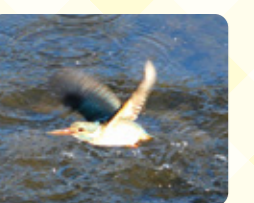


▲夏の桶ヶ谷沼

出典: 桶ヶ谷沼の「生きものガイド」



▲細い枝にとまるカワセミ



▲獲物を捕らえる